

中津市における観光ボランティア活動の意識に関する分析

－後期高齢者や業種別経験能力による人材発掘・育成のあり方－

難波利光

(周南公立大学 教授)

年報 36 号

発行 令和7（2025）年 3 月
 発行人 額原 健（理事長）
 編集責任者 瓜生 達哉（事務局長）
 発行所 一般財団法人 山口老年総合研究所
 〒751-0833 下関市武久町二丁目53番8号 武久病院内
 TEL：083-254-3033
 URL：http://www.tip.ne.jp/rounenkenkyu/
 印刷所 泉菊印刷株式会社
 〒752-0927 下関市長府扇町8番48号
 TEL：083-248-3553（代表）

年報 36（抄録）

2025年3月 発行

一般財団法人 山口老年総合研究所

本論文および年報36掲載の論文は、本研究所ホームページ
<http://www.tip.ne.jp/rounenkenkyu/nenpou/>からPDF媒体によるダウンロードが可能です。

中津市における観光ボランティア活動の意識に関する分析

－後期高齢者や業種別経験能力による人材発掘・育成のあり方－

難 波 利 光

(周南公立大学 教授)

はじめに

本研究は、山口老年総合研究所の2024年3月発行年報第35号掲載論文である難波利光著「中津市における医学に関する歴史的社会的資源の活用のためのシニア観光ボランティア」の内容を、中津市における観光ボランティア活動に関するアンケート調査を行うことで実証的に明らかにするものである。研究対象は、中津市の歴史研究団体である「中津の歴史と文化を学ぶ会（以下、学ぶ会と呼ぶ）」に対して行った。これらを通して、観光ボランティアに必要な要素を通して、今後の人材発掘や人材育成に役立てることができる。

1. 中津市観光アンケート調査の概要

本アンケート調査は、大分県中津市で活動を行っている「学ぶ会」に対して行った。観光ボランティアに関する問題を考えるには、中津市で実際に観光ボランティアを行っている団体に対して行うことが望ましい。

本アンケート内容は、大きく4つに分かれている。

第1に、学ぶ会の個人属性に関する問いである。具体的には、性別、年齢、一番長い業種についてである。性別は、①女性、②男性、③その他に分類した。年齢は、①44歳以下、②45～54歳、③55歳～64歳、④65歳～74歳、⑤75歳～79歳、⑥80歳～84歳、⑦85歳以上の7つに分類した。一番長い業種は、A民間企業、B自営業、C公務員、D学校教師、E専業主婦、F無職、Gその他の7つに分類した。

第2に、自身の活動内容についての意識についての問いである。その項目は、①.満足しているか、②.自身の生活の質の向上になっているか、③.自身の能力の向上になっているか、④.自身の価値や成長に繋がっているか、⑤.自身の健康に繋がっているか、⑥.他の人のためになっているか、⑦.他の人がしてくれてもするか、⑧.中津地域のためになっているか、⑨.観光行政の手助けになっているか、⑩.行政の健康支出の抑制になっているかの10項目である。これら10項目は、6つの選択肢で回答している。1が最もネガティブであり、6が最もポジティブである。

第3に、自身の能力についての問いである。その項目は、①.中津の歴史・文化の知識があるか、②.中津の歴史・文化を伝えることができるか、③.コミュニケーション能力があるか、④.観光に関するプレゼンテーション能力があるか、⑤.相手に配慮した会話力、があるか⑥.体力があるか、⑦.観光に関する企画力があるか、⑧.観光に関する広報力があるか、の8項目である。これら8項目は、6つの選択肢で回答している。1が最もネガティブであり、6が最もポジティブである。

第4に、サーバントリーダーとしての能力についての問いである。その項目は、①.傾聴する力があるか、②.共感する力があるかG、③.癒やす力があるかG、④.気づきの力があるか、⑤.納得させる力があるか、⑥.概念化する力があるか、⑦.先見力・予見力があるか、⑧.執事役の力があるかG、⑨.人々の成長に関わる力があるか、⑩.コミュニティ創りの力があるかの10項目である。これら10項目は、6つの選択肢で回答している。1が最もネガティブであり、6が最もポジティブである。

この10項目には、それぞれサーバントリーダーとしての能力の説明を記載している。①傾聴とは、「相手が望んでいること聞き、どうすれば役に立てるのかを考える。」ことである。②共感とは、「相手の立場に立って相手の気持ちを理解する。」ことである。③癒しとは、「相手の心は無傷の状態にして、未来の力を取り戻させる。」ことである。④気づきとは、「鋭敏な知覚により、物事をありのままに見る。」ことである。⑤納得とは、「権限に依らず、服従を強要しない。相手に納得を促すことができる。」ことである。⑥概念化とは、「大きな夢やビジョナリーなコンセプトを持つ。日常業務を越えた志の高いイメージを持つ。」ことである。⑦先見力・予見力とは、「現在と過去の出来事を照らし合わせ、そこから将来を予想する。」ことである。⑧執事役とは、「自分の利益よりも相手の利益を考えて行動できる。」ことである。⑨人々の成長に関わるとは、「仲間の成長を促すことを深くコミットしている。一人ひとりが秘めている力や価値に気づいている。」ことである。⑩コミュニティ創りとは、「人々が大きく成長できるコミュニティを創り出す。」ことである。

2. 学ぶ会へのアンケート調査により明らかにする課題

学ぶ会の会員による活動は、中津市の観光ボランティアに関する人材を発掘や育成をすることにも役立っている。人材は、本人が活躍したいという意識とは別に、実際の経験を行うことで育まれることがある。また、活動に関わった人を考察することにより、次なる活躍する人材を発掘する視点を持つことができる。

本研究は、学ぶ会の3つの属性と3つの設問に関して分析を行う。これらの分析により、性別、年齢、業種によるボランティア活動を行う人材の特徴が明らかになる。明らかにすべき観点は、以下の3点である。1つ目は、性別による違いがあるのかについて検証する。2つ目は、75歳以上である後期高齢者とそれ以下の年齢とで活動意識に違いがあるのかについて検証する。3つ目は、一番長い業種の違いがあるのかについて検証する。具体的には、民間（民間企業・自営業）と公務（公務員・学校教師）との違いである。これらを明らかにすることで、高齢化する観光ボランティア人材の発掘と育成のあり方を模索することができる。

3. アンケート調査対象

アンケート調査対象である、中津の歴史と文化を学ぶ会は、中津市のボランティア・市民活動グループの1つである。2022年4月において、中地地区での会員数は30名である。性別は、男性22名と女性8名である。年齢構成は、60歳未満は、男性1名と女性2名の3名で、60歳以上は、男性21名と女性6名の27名である。

アンケート調査は、次の内容で行った。

調 査 名：「大分県中津市における観光ボランティアに関する意識調査」

調 査 目 的：大分県中津市における観光ボランティア人材の発掘・育成を行うために必要な個人の能力は何かを明らかにすることです。本研究は、中津市に限らず、地方都市観光研究の基盤となります。

調 査 主 体：周南公立大学 難波利光

調 査 日：2024年4月24日

調 査 対 象：中津の歴史と文化を学ぶ会（以下、学ぶ会と呼ぶ）

調 査 方 法：学ぶ会の会議終了後に難波が学ぶ会の会議出席者全員にたいして口頭で研究に関する倫理的配慮について説明し、アンケート用紙を配布し回答の後学ぶ会の会長が回収を行った。

回 収 率：配布枚数26枚、有効回収枚数25枚、回収率96.2%

倫理的配慮：本研究の実施にあたっては、周南公立大学研究倫理審査委員会の承認を得て実施します。アンケート調査に参加されなくても不利益を受けることは一切ありません。ご賛同いただける場合は、研究にご参加下さいますようお願い申し上げます。本研究におけるアンケート調査の同意は、回答用紙を提出されたことで同意とさせていただきます。アンケートに際しては、調査票は無記名とし、個人が特定できないよう配慮した。また得られたデータは学会報告や学術雑誌などで公開すること、研究成果は、報告書として当団体に対して報告することを伝えた。データは全て統計的に処理され、調査協力者に迷惑をかけることにならないように配慮した。個人情報保護と調査用紙の取り扱いは、個人を特定できない形式で行い、個人の回答内容が外部に漏れること、アンケート調査用紙は、研究終了後に適切な廃棄を行うことを伝えた。

4. アンケート回答者の属性

アンケートの回答者は26名である。1名は学ぶ会に入会したばかりでアンケートに回答することが難しいためアンケート内容に答えることができなかった。そのため、アンケートの回答した25名を回答者として分析を行う。アンケート回答者（n=25）の基本属性について、性別、年齢、一番長い業種の3項目について示す。

アンケート回答者の内訳は、①女性7人（28.0%）、②男性18人（72.0%）であった。歴史に関する活動は、一般的に比較的男性が多い。

年齢については、①44歳以下0名（0.0%）、②45～54歳1人（4.0%）、③55歳～64歳2人（8.0%）、④65歳～74歳8人（32.0%）、⑤75歳～79歳10人（40.0%）、⑥80歳～84歳3人（12.0%）、⑦85歳以上1人（4.0%）である。65歳以上の高齢者数は、22名であり88.0%を占めている。その内75歳以上の後期高齢者は、14名であり56.0%を占めている。

一番長い業種は、A民間企業11名（44.0%）、B自営業0名（0.0%）、C公務員6名（24.0%）、D学

校教師 5 名 (20.0%)、E専業主婦 0 名 (0.0%)、F無職 1 名 (4.0%)、Gその他 2 名 (8.0%) である。民間 (民間企業・自営業) と公務 (公務員・学校教師) に区分して集計すると、民間 (民間企業・自営業) は 11 名 (44.0%) と公務 (公務員・学校教師) 11 名 (44.0%) になる。

5. アンケート回答の基礎統計

調査項目の問 I の自身の活動内容の意識について設問の回答について分析を行う。以下に、1 節での問いを表内容で確認しやすくするために簡潔に再掲する。

表 1 の列の項目番号は、①.満足、②.自身の生活の質の向上、③.自身の能力の向上、④.自身の価値や成長、⑤.自身の健康、⑥.他の人のためになる、⑦.他の人がしてくれても活動するか、⑧.中津地域のためか、⑨.観光行政の手助けか、⑩.行政の健康支出の抑制を示している。これら 10 項目は、行番号の 6 つの選択肢で回答している。1 が最もネガティブであり、6 が最もポジティブである。

①から⑩まで全ての問いに対して、全て 4 以上の回答をしている割合が多い。3 以下の回答をしている割合が 20% より少ないのは、①から⑥、⑧、⑨である。⑦と⑩については、比較的にネガティブな回答が多い。⑦については、自身の活動内容を他の人がしてくれればしないと答えている人が多い。即ち、自身は他の人がしないが故に活動を行っているということになる。⑩については、自身の活動内容を行政の健康支出の抑制になっていないと答えている人が多い。即ち、自身のボランティア活動が健康のためになっていたとしても、それが行政との関係性と結びついていないと考えているようである。

表 1 アンケート調査問 I に対する回答集計

	①		②		③		④		⑤		⑥		⑦		⑧		⑨		⑩	
	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
1	1	4	1	4	0	0	0	0	1	4	0	0	5	20	0	0	0	0	1	4
2	1	4	1	4	1	4	1	4	1	4	1	4	2	8	0	0	0	0	1	4
3	1	4	1	4	1	4	0	0	1	4	1	4	3	12	1	4	0	0	5	20
4	4	16	4	16	4	16	6	24	7	28	6	24	4	16	4	16	11	44	7	28
5	14	56	14	56	12	48	11	44	7	28	12	48	9	36	14	56	8	32	9	36
6	4	16	4	16	7	28	7	28	8	32	5	20	2	8	6	24	6	24	2	8
合計	25	100	25	100	25	100	25	100	25	100	25	100	25	100	25	100	25	100	25	100

出典：筆者作成

調査項目の問 II の自身の能力について設問の回答について分析を行う。以下に、1 節での問いを表内容で確認しやすくするために簡潔に再掲する。

表 2 の列の項目番号は、①.中津の歴史・文化の知識、②.中津の歴史・文化を伝える能力、③.コミュニケーション能力、④.観光に関するプレゼンテーション能力、⑤.相手に配慮した会話力、⑥.体力、⑦.観光に関する企画力、⑧.観光に関する広報力を示している。これら 8 項目は、行番号の 6 つの選択肢で回答している。1 が最もネガティブであり、6 が最もポジティブである。

①から⑩まで全ての問いに対して、全て 4 以上の回答をしている割合が多い。また、3 以下の回答

をしている割合が20%より少ないのも全てである。中でも⑥から⑧については、比較的にネガティブな回答が多い。特に、⑦と⑧については、観光に関する企画力と広報力の能力に自信がないといえる。能力に関して全体を通してみると、観光客に対する個人的能力が高いと思っている人は多いものの、組織を通しての観光客への発進力の能力が低いと思っている。

表2 アンケート調査問Ⅱに対する回答集計

	①		②		③		④		⑤		⑥		⑦		⑧	
	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2	0	0	0	0	0	0	1	4	0	0	1	4	0	0	1	4
3	2	8	1	4	1	4	1	4	1	4	3	12	5	20	3	12
4	4	16	8	32	7	28	8	32	8	32	7	28	9	36	11	44
5	13	52	10	40	13	52	10	40	13	52	11	44	7	28	7	28
6	6	24	6	24	4	16	5	20	3	12	3	12	4	16	3	12
合計	25	100	25	100	25	100	25	100	25	100	25	100	25	100	25	100

出典：筆者作成

調査項目の問Ⅲのサーバントリーダーとしての能力について設問の回答について分析を行う。以下に、1節での問いを表内容で確認しやすくするために簡潔に再掲する。

表3の列の項目番号は、①.傾聴する力、②.共感する力、③.癒やす力、④.気づきの力、⑤.納得させる力、⑥.概念化する力、⑦.先見力・予見力、⑧.執事役の力、⑨.人々の成長に関わる力、⑩.コミュニティ創りの力を示している。これら10項目は、行番号の6つの選択肢で回答している。1が最もネガティブであり、6が最もポジティブである。

①から⑩まで全ての問いに対して、全て4以上の回答をしている割合が多い。また、3以下の回答をしている割合は、全てにおいて20%より少ない。⑧については、比較的にネガティブな回答が多い。①から⑩までを通して、自身のサーバントリーダー力が高いと思っているといえる。特に、②の共感する力は、顕著である。

表3 アンケート調査問Ⅲに対する回答集計

	①		②		③		④		⑤		⑥		⑦		⑧		⑨		⑩	
	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	4	0	0	0	0
2	0	0	0	0	1	4	0	0	0	0	1	4	0	0	1	4	1	4	0	0
3	0	0	0	0	0	0	0	0	1	4	2	8	2	8	1	4	2	8	3	12
4	9	36	5	20	13	52	8	32	11	44	10	40	7	28	10	40	10	40	11	44
5	12	48	13	52	10	40	15	60	12	48	10	40	14	56	12	48	11	44	9	36
6	4	16	7	28	1	4	2	8	1	4	2	8	2	8	0	0	1	4	2	8
合計	25	100	25	100	25	100	25	100	25	100	25	100	25	100	25	100	25	100	25	100

出典：筆者作成

6. アンケート回答分析

アンケートの分析に際して、アンケートの回答の6段階を3段階にして行う。6段階のうち、1と2を満足していない、3と4を普通、5と6を満足しているとする。この3つの分類にすることにより、満足度をより明確にみることができる。

5-1 性別属性とアンケート回答

5-1-1 意識

表4において性別と意識に関する設問の回答について分析を行う。

①から⑥までと⑧と⑨の問いについては、女性より男性の方が満足している人が多いといえる。⑦と⑩については、女性が満足していない人が多く見られる。これらのことから、男性方が、自身ではなく他人に活動を依存しても良いと考え、また、行政の健康支出の抑制になっていると考えている。

表4 性別と意識に関する集計

	①			②			③			④			⑤			⑥			⑦			⑧			⑨			⑩		
	女 性	男 性	合 計	女 性	男 性	合 計	女 性	男 性	合 計	女 性	男 性	合 計	女 性	男 性	合 計	女 性	男 性	合 計	女 性	男 性	合 計	女 性	男 性	合 計	女 性	男 性	合 計	女 性	男 性	合 計
1・2	1	1	2	1	1	2	0	1	1	0	1	1	1	1	2	0	1	1	4	3	7	0	0	0	0	0	0	2	0	2
3・4	3	2	5	2	2	4	3	2	5	3	3	6	3	5	8	3	4	7	1	6	7	3	2	5	4	7	11	4	8	12
5・6	3	15	18	4	15	19	4	15	19	4	14	18	3	12	15	4	13	17	2	9	11	4	16	20	3	11	14	1	10	11
合計	7	18	25	7	18	25	7	18	25	7	18	25	7	18	25	7	18	25	7	18	25	7	18	25	7	18	25	7	18	25

出典：筆者作成

5-1-2 自身の能力

表5において性別と自身の能力に関する設問の回答について分析を行う。

①と②と④と⑥の問いについては、女性より男性の方が満足している人が多いといえる。女性は、③から⑤と⑦の問いについて満足していない人が多い。⑧については、男女ともに普通を選んでいる人が多い。女性は、コミュニケーションや相手に配慮した会話力といった対人に対する接し方の能力不足を感じている。男女ともに、観光に関する企画力や広報力といった組織運営に関する力について能力に自信をもっていないといえる。

表5 性別と自身の能力に関する集計

	①			②			③			④			⑤			⑥			⑦			⑧		
	女 性	男 性	合 計	女 性	男 性	合 計	女 性	男 性	合 計	女 性	男 性	合 計	女 性	男 性	合 計	女 性	男 性	合 計	女 性	男 性	合 計	女 性	男 性	合 計
1・2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	1
3・4	3	3	6	3	6	9	4	4	8	3	6	9	4	5	9	2	8	10	5	9	14	4	10	14
5・6	4	15	19	4	12	16	3	14	17	3	12	15	3	13	16	5	9	14	2	9	11	2	8	10
合計	7	18	25	7	18	25	7	18	25	7	18	25	7	18	25	7	18	25	7	18	25	7	18	25

出典：筆者作成

5-1-3 サーバントリーダーとしての能力

表6において性別とサーバントリーダー力に関する設問の回答について分析を行う。

①と②と④と⑦の問いについては、男性の方が、サーバントリーダー力があるといえる。男女の傾向に差があるのは、⑥と⑧である。この2つの問いに対して、男性のサーバントリーダー力の高さに自信を持っていない傾向にある。男女ともに同じ傾向があるのは、③と⑤と⑨と⑩である。特に③と⑤については、男女ともに3・4である普通を選んでいる人数が他の問いと比べて比較的多い。即ち、男女ともに、癒す力と納得させる力といった、本来の力を取り戻させ、相手に納得を促す力が高いといえない。

表6 性別とサーバントリーダーに関する集計

	①			②			③			④			⑤			⑥			⑦			⑧			⑨			⑩		
	女 性	男 性	合 計	女 性	男 性	合 計	女 性	男 性	合 計	女 性	男 性	合 計	女 性	男 性	合 計	女 性	男 性	合 計	女 性	男 性	合 計	女 性	男 性	合 計	女 性	男 性	合 計	女 性	男 性	合 計
1・2	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	1	2	1	0	1	0	0	0
3・4	3	6	9	2	3	5	4	9	13	3	5	8	3	9	12	2	10	12	3	6	9	2	9	11	3	9	12	4	10	14
5・6	4	12	16	5	15	20	2	9	11	4	13	17	4	9	13	4	8	12	4	12	16	4	8	12	3	9	12	3	8	11
合計	7	18	25	7	18	25	7	18	25	7	18	25	7	18	25	7	18	25	7	18	25	7	18	25	7	18	25	7	18	25

出典：筆者作成

5-2 年齢属性と意識に関する回答（75歳区切り）

5-2-1 意識

表7において年齢と意識に関する設問の回答について分析を行う。

①から⑥と⑧の問いについては、年齢に関係なく満足している人が多い。⑦については、75歳以上の人が、他人がしてくれたとしても思っている人が多い。⑨については、75歳以上の人が、観光行政の手助けになっていると思っている人が比較的多い。⑩については、年齢に関係なく他の設問の回答に比べると普通と思っている。

表7 年齢と意識に関する集計

	①			②			③			④			⑤			⑥			⑦			⑧			⑨			⑩		
	74歳以下	75歳以上	合 計	74歳以下	75歳以上	合 計	74歳以下	75歳以上	合 計	74歳以下	75歳以上	合 計	74歳以下	75歳以上	合 計	74歳以下	75歳以上	合 計	74歳以下	75歳以上	合 計	74歳以下	75歳以上	合 計	74歳以下	75歳以上	合 計	74歳以下	75歳以上	合 計
1・2	1	1	2	1	1	2	1	0	1	1	0	1	1	1	2	1	0	1	5	2	7	0	0	0	0	0	0	0	2	2
3・4	2	3	5	1	3	4	1	4	5	2	4	6	4	4	8	1	6	7	2	5	7	2	3	5	6	5	11	6	6	12
5・6	8	10	18	9	10	19	9	10	19	8	10	18	6	9	15	9	8	17	4	7	11	9	11	20	5	9	14	5	6	11
合計	11	14	25	11	14	25	11	14	25	11	14	25	11	14	25	11	14	25	11	14	25	11	14	25	11	14	25	11	14	25

出典：筆者作成

5-2-2 自身の能力

表8において年齢と自身の能力に関する設問の回答について分析を行う。

①から⑥までの問いについては、年齢に関係なく満足している人が多い。⑦と⑧については、75歳以上の人が満足しているより普通と答えている人が多い。すなわち、75歳以上の人は、観光に関する他者への発進力が高いと思っていないことになる。

表8 年齢と自身の能力に関する集計

	①			②			③			④			⑤			⑥			⑦			⑧		
	74歳以下	75歳以上	合計	74歳以下	75歳以上	合計	74歳以下	75歳以上	合計	74歳以下	75歳以上	合計	74歳以下	75歳以上	合計	74歳以下	75歳以上	合計	74歳以下	75歳以上	合計	74歳以下	75歳以上	合計
1・2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0
3・4	4	2	6	3	6	9	4	4	8	4	5	9	3	6	9	4	6	10	5	9	14	5	9	14
5・6	7	12	19	8	8	16	7	10	17	7	8	15	8	8	16	7	7	14	6	5	11	6	5	11
合計	11	14	25	11	14	25	11	14	25	11	14	25	11	14	25	11	14	25	11	14	25	11	14	25

出典：筆者作成

5-2-3 サーバントリーダーとしての能力

表9において年齢とサーバントリーダー力に関する設問の回答について分析を行う。

①と②と④と⑦の問いについては、年齢に関係なくサーバントリーダー力があると思っている。③については、74歳以下の方が、サーバントリーダー力があると思っている。⑤と⑥と⑧から⑩については、年齢に関係なく普通だと思っている人が他の問いより多い。

表9 年齢とサーバントリーダーに関する集計

	①			②			③			④			⑤			⑥			⑦			⑧			⑨			⑩		
	74歳以下	75歳以上	合計	74歳以下	75歳以上	合計	74歳以下	75歳以上	合計	74歳以下	75歳以上	合計	74歳以下	75歳以上	合計	74歳以下	75歳以上	合計	74歳以下	75歳以上	合計	74歳以下	75歳以上	合計	74歳以下	75歳以上	合計	74歳以下	75歳以上	合計
1・2	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	1	2	0	1	1	0	0	0
3・4	4	5	9	1	4	5	5	8	13	3	5	8	5	7	12	5	7	12	3	6	9	5	6	11	5	7	12	6	8	14
5・6	7	9	16	10	10	20	6	5	11	8	9	17	6	7	13	6	6	12	8	8	16	5	7	12	6	6	12	5	6	11
合計	11	14	25	11	14	25	11	14	25	11	14	25	11	14	25	11	14	25	11	14	25	11	14	25	11	14	25	11	14	25

出典：筆者作成

5-3 業種属性と回答（民間・公務）

5-3-1 意識

表10において業種と意識に関する設問の回答について分析を行う。

①から⑥と⑧の問いについては、業種に関係なく意識が高い。⑦と⑨については、民間の方が、意識が低い傾向にある。⑩については、業種に関係なく普通と思っている。

表10 業種と意識に関する集計

	①				②				③				④				⑤				⑥				⑦				⑧				⑨				⑩			
	民 間	公 的	そ の 他	合 計	民 間	公 的	そ の 他	合 計	民 間	公 的	そ の 他	合 計	民 間	公 的	そ の 他	合 計	民 間	公 的	そ の 他	合 計	民 間	公 的	そ の 他	合 計	民 間	公 的	そ の 他	合 計	民 間	公 的	そ の 他	合 計	民 間	公 的	そ の 他	合 計				
1・2	1	1	0	2	1	1	0	2	1	0	0	1	1	0	0	1	1	1	0	2	1	0	0	1	4	2	1	7	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	
3・4	2	3	0	5	1	3	0	4	2	3	0	5	2	3	1	6	3	4	1	8	4	3	0	7	3	3	1	7	2	3	0	5	7	3	1	11	7	5	0	12
5・6	8	7	3	18	9	7	3	19	8	8	3	19	8	8	2	18	7	6	2	15	6	8	3	17	4	6	1	11	9	8	3	20	4	8	2	14	4	4	3	11
合計	11	11	3	25	11	11	3	25	11	11	3	25	11	11	3	25	11	11	3	25	11	11	3	25	11	11	3	25	11	11	3	25	11	11	3	25	11	11	3	25

出典：筆者作成

5-3-2 自身の能力

表11において業種と自身の能力に関する設問の回答について分析を行う。

①から③までと⑤の問いについては、業種に関係なく自信の能力が高いと思っている。④は、民間の方が普通と思っている傾向にある。⑥については、民間の方が公的よりも自身の能力が高いと思っている。⑦と⑧については、業種に関係なく、自身の能力が普通だと思っている。

表11 業種と自身の能力に関する集計

	①				②				③				④				⑤				⑥				⑦				⑧			
	民 間	公 的	そ の 他	合 計	民 間	公 的	そ の 他	合 計	民 間	公 的	そ の 他	合 計	民 間	公 的	そ の 他	合 計	民 間	公 的	そ の 他	合 計	民 間	公 的	そ の 他	合 計	民 間	公 的	そ の 他	合 計	民 間	公 的	そ の 他	合 計
1・2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
3・4	4	2	0	6	5	4	0	9	4	4	0	8	6	3	0	9	5	4	0	9	4	5	1	10	7	7	0	14	6	8	0	14
5・6	7	9	3	19	6	7	3	16	7	7	3	17	5	7	3	15	6	7	3	16	7	5	2	14	4	4	3	11	5	2	3	10
合計	11	11	3	25	11	11	3	25	11	11	3	25	11	11	3	25	11	11	3	25	11	11	3	25	11	11	3	25	11	11	3	25

出典：筆者作成

5-3-3 サーバントリーダーとしての能力

表12において業種とサーバントリーダー力に関する設問の回答について分析を行う。

①と⑧から⑩の問いについては、公的な方が民間より高いと思っている傾向にある。②については、業種に関係なく高いと感じている。③については、業種に関係なく普通と感じている。④と⑦については、民間の方が公的な方より高いと思っている傾向にある。⑤と⑥については、どちらも普通と高いが同じくらいである。

表12 業種とサーバントリーダーに関する集計

	①				②				③				④				⑤				⑥				⑦				⑧				⑨				⑩			
	民	公	その他	合計	民	公	その他	合計	民	公	その他	合計	民	公	その他	合計	民	公	その他	合計	民	公	その他	合計	民	公	その他	合計	民	公	その他	合計	民	公	その他	合計				
1・2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	1	2	0	1	0	1	0	0	0		
3・4	6	3	0	9	3	2	0	5	6	6	1	13	3	5	0	8	6	5	1	12	6	5	1	12	4	5	0	9	7	4	0	11	8	4	0	12	8	5	1	14
5・6	5	8	3	16	8	9	3	20	5	4	2	11	8	6	3	17	5	6	2	13	5	5	2	12	7	6	3	16	4	6	2	12	3	6	3	12	3	6	2	11
合計	11	11	3	25	11	11	3	25	11	11	3	25	11	11	3	25	11	11	3	25	11	11	3	25	11	11	3	25	11	11	3	25	11	11	3	25	11	11	3	25

出典：筆者作成

6. おわりに

本研究は、地方経済を支えることにもなる観光でのボランティア活動の意識について明らかにした。少子高齢社会になり、高齢者が社会で生涯活躍できる場の創出が求められている。観光は、産業の裾野が広く地方経済を支える産業の1つとして期待されている。更に、高齢化が進む地方にとって高齢者の活躍が求められているものの、地方の産業の衰退も著しいのが現状である。高齢者は、長寿化する社会の中で仕事を求めている人たちが多く、ボランティアを行いたいという人数が減少している。観光に関するボランティア人材についても同様の現状がある。また、公務員をリタイアした方々の地域貢献が期待されている。公務員は、これまで、地域の公共に対するサービスに司っており、地域住民とのネットワークや民間企業との業務を通じた繋がりも強い。

本研究では、この2つの要素である年齢と業種（民間と公的）の違いによる観光ボランティア人材発掘と育成について分析を行った。本研究の結果として、75歳以上の人は、他の人の活動に関係なく自ら活動を行い、観光行政の手助けになっていると思っている。しかし、他者への発進力は高くなく、コミュニケーション能力は高くないと思っている。業種に関しては、民間で長く働いていた人は、他人がしてくれたら自らが活動することではなく、観光行政の手助けになっていないと思っている。また、サーバントリーダー力として、気づき力や先見力・予見力が高い。公的で長く働いた人は、サーバントリーダー力として、傾聴力、執事役の力、コミュニティ創りの力が強い。

これらのことから、75歳以上の人の自主的活動や観光行政との関わりを意識している傾向にあるといえる。業種により、サーバントリーダー力も異なることが分かった。これらのことから、年齢や業種により観光ボランティアを行う際に、異なった活動内容に取り組むことが必要であるといえる。

中津市においては、これまでも歴史研究活動を行っている団体は、それぞれの活動目的をもち地域貢献を行っている。歴史ある中津市は、歴史を活かすことで観光を通じた地域活性化策を地域の方々と共に成長させる素地を持っている。この度調査を行った「中津の歴史と文化を学ぶ会」は、観光ガイドのみならず、多くの活動内容に取り組んでおり、これからの中津市の発展に寄与できる要素が多い。また、他の歴史研究の団体との連携も可能であると思われる。中津市においても高齢化が進み、観光ボランティア人材を発掘し育成することが急務である。地域の歴史資源は、物質的な物と人的な物とで活かすことができる。これらの資源を行政と民間が共に考えながら取り組む機会を模索する必要性がある。

最後に、調査にご協力いただいた「中津の歴史と文化を学ぶ会」の皆様に、感謝致します。

参考文献

- アリエ・L・ヒルマン著 井堀利宏監訳『入門財政・公共政策 政府の責任と限界』勁草書房 2006
井手拓郎『観光まちづくりリーダー論 地域を変革に導く人材の育成にむけて』法政大学出版会 2020
後藤和子・勝浦正樹編『文化経済学 理論と実際を学ぶ』有斐閣 2019
真田茂人『サーバント・リーダーシップ実践講座』中央経済社 2012
難波利光「中津市における医学に関する歴史的社会的資源の活用のためのシニア観光ボランティア活動」

藤原佳典・倉岡正高編著『シニアボランティアハンドブック シニアの力を引き出し活かす知識と技術』
大修館書店 2016

ロバート・K・グリーンリーフ『サーバントリーダーシップ』英治出版 2008

労働政策研究・研修機構 「高齢者の社会貢献活動に関する研究－定量的分析と定性的分析から－」
労働政策研究・研修機構 労働政策研究報告書 No.142 2012

大分県中津市における観光ボランティアに関する意識調査

※あなたの性別はどれですか。番号記入【 】

①女性 ②男性 ③その他

※あなたの年齢はどの世代ですか。番号記入【 】

①44歳以下 ②45～54歳 ③55歳～64歳 ④65歳～74歳 ⑤75歳～79歳 ⑥80歳～84歳 ⑦85歳以上

※あなたの一番長い職種などはどれですか。A～Gの中から選んでください。アルファベット記入【 】

A民間企業 B自営業 C公務員 D学校教師 E専業主婦 F無職 Gその他

I ①から⑩の問いに答えて下さい。そうだと思う番号に○を付けて下さい。

①自身の活動内容に満足していますか。

満足していない 1 2 3 4 5 6 満足している

②自身の活動内容は、自身の生活の質の向上になっていますか。

向上していない 1 2 3 4 5 6 向上している

③自身の活動内容は、自身の能力の向上になっていますか。

向上していない 1 2 3 4 5 6 向上している

④自身の活動内容は、自身の価値や成長に繋がっていますか。

繋がっていない 1 2 3 4 5 6 繋がっている

⑤自身の活動内容は、自身の健康に繋がっていますか。

繋がっていない 1 2 3 4 5 6 繋がっている

⑥自身の活動内容は、他の人のためになっていますか。

なっていない 1 2 3 4 5 6 なっている

⑦自身の活動内容は、他の人がしてくれてもしますか。

する 1 2 3 4 5 6 しない

⑧自身の活動内容は、中津地域のためになっていますか。

なっていない 1 2 3 4 5 6 なっている

⑨自身の活動内容は、観光行政の手助けになっていますか。

なっていない 1 2 3 4 5 6 なっている

⑩自身の活動内容は、行政の健康支出の抑制になっていますか。

なっていない 1 2 3 4 5 6 なっている

Ⅱ ①から⑩の問いに答えて下さい。そうだと思う番号に○を付けて下さい。

①あなたは、中津の歴史・文化の知識がある。

ない 1 2 3 4 5 6 ある

②あなたは、中津の歴史・文化を伝えることができる。

できない 1 2 3 4 5 6 できる

③あなたは、コミュニケーション能力がある。

ない 1 2 3 4 5 6 ある

④あなたは、観光に関するプレゼンテーション能力がある。

ない 1 2 3 4 5 6 ある

⑤あなたは、相手に配慮した会話力がある。

ない 1 2 3 4 5 6 ある

⑥あなたは、体力がある。

ない 1 2 3 4 5 6 ある

⑦あなたは、観光に関する企画力がある。

ない 1 2 3 4 5 6 ある

⑧あなたは、観光に関する広報力がある。

ない 1 2 3 4 5 6 ある

Ⅲ ①から⑩の問いに答えて下さい。そうだと思う番号に○を付けて下さい。

①あなたは、傾聴する力がありますか。

傾聴とは、「相手が望んでいること聞き、どうすれば役に立てるのかを考える。」ことである。

ない 1 2 3 4 5 6 ある

②あなたは、共感する力がありますか。

共感とは、「相手の立場に立って相手の気持ちを理解する。」ことである。

ない 1 2 3 4 5 6 ある

③あなたは、癒す力がありますか。

癒しとは、「相手の心は無傷の状態にして、未来の力を取り戻させる。」ことである。

ない 1 2 3 4 5 6 ある

④あなたは、気づきの力がありますか。

気づきとは、「鋭敏な知覚により、物事をありのままに見る。」ことである。

ない 1 2 3 4 5 6 ある

⑤あなたは、納得させる力がありますか。

納得とは、「権限に依らず、服従を強要しない。相手に納得を促すことができる。」ことである。

ない 1 2 3 4 5 6 ある

⑥あなたは、概念化する力がありますか。

概念化とは、「大きな夢やビジョナリーなコンセプトを持つ。日常業務を越えた志の高いイメージを持つ。」ことである。

ない 1 2 3 4 5 6 ある

⑦あなたは、先見力・予見力がありますか。

先見力・予見力とは、「現在と過去の出来事を照らし合わせ、そこから将来を予想する。」ことである。

ない 1 2 3 4 5 6 ある

⑧あなたは、執事役の力がありますか。

執事役とは、「自分の利益よりも相手の利益を考えて行動できる。」ことである。

ない 1 2 3 4 5 6 ある

⑨あなたは、人々の成長に関わる力がありますか。

人々の成長に関わるとは、「仲間の成長を促すことを深くコミットしている。一人ひとりが秘めている力や価値に気づいている。」ことである。

ない 1 2 3 4 5 6 ある

⑩あなたは、コミュニティ創りの力がありますか。

コミュニティ創りとは、「人々が大きく成長できるコミュニティを創り出す。」ことである。

ない 1 2 3 4 5 6 ある

ご回答ありがとうございました。

周南公立大学 難 波 利 光

【2024年4月24日実施】

